

# まちの話題

ISA City Topics 

## 伊佐の地にトラック集結

5月3日、アートトラック愛好者で結成され、伊佐市に本部を置く「龍桜船団」主催で「トラック祭り」が開催され、電飾をほどこした約150台のアートトラックが県内外から集結しました。

昼はステージショーやビンゴ大会などにぎわい、夜はトラックの電飾が一齐に点灯され訪れた人を魅了しました。

イベントの収益金の一部は、子ども発達支援センターたんぽぽと熊本地震被災地への義援金として寄附されました。ありがとうございました。



## 祝！優勝 女性消防操法大会



5月21日に霧島市消防本部で行われた「第1回始良伊佐支部 女性消防操法大会」で伊佐市女性消防団が優勝しました。

今回は伊佐市・湧水町・霧島市・始良市が参加し、操法の規律とタイムを競いました。

それぞれが今までの練習の成果を十分に発揮し、息の合った美しい操法を披露しました。伊佐市のタイムは56秒で、始良市に1秒及ばなかったものの、総合的な点数評価で見事優勝をはたしました。

支部大会で優勝した伊佐市は、9月30日に秋田県で行われる全国大会へ出場します。

## 新人自衛官 表敬訪問



この春、自衛隊に入隊した伊佐市出身の新人自衛官3人が市長を表敬訪問しました。

新しい制服に身を包んだ皆さんは自衛隊員としての生活などについて語り、初給料から「福祉に役立ててください」と市に寄附をいただきました。ありがとうございました。

今年度の新人隊員は次のとおりです。

写真左から<敬称略>

久保田一樹（上ノ馬場） 黒木莉奈（高野）  
岡田晨（前目宇都）

## 母校で詩吟を披露



4月21日、大口小学校5・6年生を対象に卒業生の森田夏代さんが伝統文化である吟詠を披露しました。

森田さんは実力のある若手を集めた「吟詠スーパーチーム」に選ばれており、今回は詩吟に興味を持ってもらいたいとの思いから、母校を訪れました。漢詩の「偶成」と「春簾雨窓」の2曲を披露し、児童へ向けて「今日詩吟をきいて、少しでもいいなと思ってくれると嬉しいです。」と語りました。

## いっぱい飲んで 大きくなーれ



5月15日、伊佐牧場夢さくら館店の指定管理者である株式会社カミチクが、市内の16小中学校の給食に牛乳を提供しました。これは同社の社会貢献活動の一環として行われたものです。

この牛乳は伊佐牧場の生乳を県酪農業協同組合で加工したもので、乳牛に伊佐米や稲わらを与えて育てているため、あっさりとした甘い味わいが魅力です。

この日、大口小学校4年2組の教室に同社の前田沙奈さんが訪れ、伊佐牧場の紹介をしました。児童たちは「いつもより甘くておいしい」と嬉しそうに飲んでいました。

## 水害から地域を守る（表紙）



5月14日、伊佐市では7年ぶりとなる「川内川上流地区水防演習（訓練）」が、グラウンド橋下流の河川敷で行われました。

伊佐市・湧水町・えびの市の水防団など15団体が参加し、堤防の決壊を防ぐ「土のう積み工」などの工法を実践して学びました。

水防演習前に文化会館で行われた「防災・減災フォーラム」では、鹿児島地方気象台の平山久貴氏（防災気象官）と九州防災エキスパート会の永吉修平氏を講師として招き、防災に関する講演会が行われました。

## 受賞おめでとうございます



「第58回全国土地改良功労者等表彰」で伊佐市から田崎英治さん(大口土地改良区理事長)と西太良土地改良区が受賞しました。

田崎さんは平成22年に脳梗塞の大病を不屈の精神で克服し理事長に復帰され、土地改良事業の推進や地域農業の発展に貢献されました。



15年間の永きにわたり民生委員を務めた功績が認められ、曾山忠さんが厚生労働大臣から表彰されました。

曾山さんは羽月地区民生委員児童委員協議会の副会長として、民生委員同士の意思疎通が図れるような取組みを行いました。



## 一漕入魂 白熱のドラゴンレース

4月30日、菱刈カヌー競技場で「いさドラゴンカップ2017」が開催されました。

市内小学生から県内外の一般まで70チームが参加し、250m先のゴールをめざして迫力のレースが繰り広げられました。イベント当日はドラゴンボート用品の展示・販売ブースや伊佐市商工会青年部によるグルメコーナーが設けられ、選手や応援に訪れた観客でにぎわいました。

## 小さな小さな村まつり



4月29日、30日に富ヶ丘地区にあるすずらんの里で「小さな小さな村まつり」が開催されました。

およそ1万株のすずらんが咲き誇り、多くの方が訪れ楽しんでいました。

会場では地域住民による特産品の販売や、29日には打楽衆バサラによる太鼓演奏も行われ、大いに盛り上がりました。

## 人権の花運動



4月24日、本城小学校で「人権の花運動」の集いが開かれました。

霧島市人権擁護委員協議会長の石塚さんから講話があり、明るい花を育てることで思いやりの心を育むことを目的に、ひまわりの種とプレートが児童へ贈られました。児童を代表して吉永君が「人を思いやる気持ちと命の大切さを学びたい」と挨拶をしました。